

・連合山形青年委員会・

かわらばん



第1号

(組織内部資料)

連合山形青年委員会
発行責任者 荒井拓也

連合山形青年委員会 第29回総会で活発な議論！

2018年10月27日（土）大手門パルズにおいて、連合山形青年委員会第29回総会が開催されました。

総会では、2018年度の活動報告と2019年度の活動補強方針を提案し、5名の方から質問や前向きな意見が出され、活発な議論の場となりました。その後、採択が行われ満場一致で承認されました。

総会後には、七日町メンタルクリニックの高橋誠一郎院長から「がんばり過ぎないためのセルフケア」の講演をいただきました。ストレスやその予防、そして今取り組むこと等、現代社会における問題と対処法を教えていただき、とても有意義な時間となりました。

2019年度も「学習と交流」を通じ、地域・産別の枠を越えた青年の力を結集していきましょう。



役員体制

(◎は新任)

役 職	氏 名	構成組織
委員長	荒井 拓也	情報労連
副委員長	金子 良	県教組
副委員長	本間 智也	J P 労組
副委員長	鈴木 友博	交通労連
事務局 長	小林 史人	全労金
事務局 次長	◎ 上野 航太朗	自治労
幹事	門馬 碧海	電力総連
幹事	◎ 菊地 佳樹	電機連合
幹事	◎ 阿部 芳紀	J A M
幹事	◎ 佐藤 拓人	森林労連

山形大学寄付講座への参画

11月1日、山形大学で開催した「第10回連合山形寄付講座」に荒井委員長・小林副委員長がゲストスピーカーとして参加、山形大学人文学部の学生に対し「青年労働者の問題意識と労働組合」というテーマで講義を行い、今年は昨年の70名を上回る105名の学生に参加いただきました。

内容は、これから社会人になる学生ということで、近年問題となっている若者の3年以内の「離職」に焦点をあて、山形県の実況、青年委員会の活動紹介などを交えながら講義を行いました。

また、学生から「離職」の考え方について率直な意見を聞き、その後「3年以内の離職に伴うリスク」や「労働組合の必要性」を説明し、意見交換を行いました。



スキー・スノボ学習交流会 を開催します！

開催日 2月1日(金)～2日(土) 1泊2日

場所 蔵王温泉「ヴァルトベルグ」

時間 2月1日(金) 14:30受付

15:00開会 学習会テーマ「AIで仕事が、社会が変わる!?(仮題)」

2月2日(土) 朝から スキー・スノボ交流会

参加対象者 概ね35歳までの男女組合員 35人程度(役員含む)

参加負担金 7,000円/人(宿泊・懇親会代)※リフト代・昼食は各自負担

初心者でもOK! 多くの方の参加お待ちしております!

